



木材の圧密処理技術で新発想の商品開発

～ ひろしまで育ったヒノキの香り高い圧密材 ～

連携機関 | 有限会社一場木工所
研究期間 | 平成27年度[技術移転]

知財情報 | 特許4269004号, 「木材圧密処理方法」

※広島県は上記知財権の実施が第三者の権利を侵害しないことを保証するものではありません。

技術支援のきっかけ

- ◆ 三次市の有限会社一場木工所から、ヒノキ材の香りを損なうことなく、強度を増したヒノキ材を使った日本酒のケースを製造したいと相談がありました。
- ◆ そこで、林業技術センターが保有する、木材の乾燥と強度向上が可能となる特許技術「木材圧密処理方法」により技術支援を行いました。

技術支援の内容

- ◆ 林業技術センターの設備を利用して技術移転した結果、ヒノキ材の厚さを高温で半分に圧縮することでヒノキの香りを残し、色もほとんど変えずに圧密することができました。
- ◆ 有限会社一場木工所は、この技術を緩衝剤の役割を持つ美しい組み木細工として活用することを考え、三次市の白蘭酒造株式会社、造形作家とコラボレーションして商品名「ヒノハコ」で製品化しました。



木材圧密処理方法の技術移転



平成27年11月12日「ヒノハコ」ロットNo.001を知事に贈呈
(中央：(有)一場木工所 左：造形作家 手取氏)



特許技術を利用した
「ヒノハコ」の組み木

技術支援の活用場面

- ◆ 木材の圧密処理方法の技術は、ヒノキ材だけでなくいろいろな木材にも活用できます。
- ◆ 木材の端材を利用して、ペン・印鑑のケース、名刺入れなど小さめの製品の製作も可能です。

問い合わせ先 | 林業技術センター 技術支援部 | TEL 0824-63-0897

- 36 -